

学友会

黎明祭実行副委員長

部活・サークルの語り部に聞く

子どもが主役
地域&先生が主役
大学生スタッフが主役

「まなび屋」

こんなところだよ

新潟市西地区公民館と新潟大学教育人間科学部学習社会ネットワーク課程が合同で企画するフリースペース。2年前、学生たちが立ち上げ現在の学生スタッフは約30人。地域の子もたち30人が毎週木曜日に会場である西地区公民館に集まっています。学校ではなかなか得ることのできない学びや、異なる世代との関わりのなかで誰もが主役になれる居場所づくりを目指しています。

まなび屋参加の方法

どなたでも参加できます。昨年は、教育人間科学部はもちろん、工学部、農学部 of 学生も参加しています。

見学

事前に公民館に連絡をくだされば、授業を見学できます。まなび屋の様子がよくわかりますよ。

フリータイムに参加

毎週木曜日18:10~19:05の間、フリータイムという時間を設けています。フリータイムでは子ども・大学生・地域の方々など誰でも参加でき、互いに交流を深めています。

イベント

まなび屋では週一回、木曜の定期的な「授業」の他に、不定期(主に土・日)に行う「イベント」があります。

問い合わせ：西地区公民館 新潟市内野町603
TEL:025-261-0031
nishikomin@city.niigata.niigata.jp

新潟大学学友会
黎明祭実行副委員長

近藤 至(こんどういたる)さん
人文学部3年

学友会誌も
ぜひ見て下さい



昨年は、学友会の書記になったことをきっかけに黎明祭実行委員長を務めました。昨年一年間の活動を振り返って言うことは、部活と学友会との両立が大変だったということです。しかし、そこから学んだこともあります。それは、仲間の大切さです。部活も学部も考え方も違う集団の結束を作り上げることは、限られたスタッフ、限られた時間の中で集まって話し合ううえで、難しい状況にありました。そこでは、スタッフ個人個人ができる限りのことを精一杯取り組むことが必要であるとともに、お互いの信用や信頼が不可欠となりました。結果としてチームワークが生まれました。連帯することで一つのことを達成させるという喜びを得ることができました。また同時に、自分一人で最後まで全てをこなすことができないという自分の限界を知ることができました。仲間の協力があってこそ自分なんだ、と改めて実感することができたのです。このことは、ごく当たり前のことでしょうか、とても大切で重要なことだと思います。これも、仲間に恵まれたからでしょうか。今でも、去年一緒にやってきた仲間とは、交流あるいは友達としての付き合いがあります。もともとは、学年、学部、部活の異なる、ある意味、個性や興味、関心がばらばらの人たちがこれほどまでに仲良くなるとは思ってもみませんでした。すばらしい出会いだったと思っています。学友会の本質は、仲間とチームをつくり、その中で自分の役割を果たすことにある、と僕は考

えています。人それぞれに目的は違うと思いますが、またそれぞれに活動から学ぶことがあるはずですよ。大学生活の中で何かしようと思っても、あれもこれもできるというわけではないでしょう。まず、一つのことに集中することが大切だと思います。

** 一年生へのメッセージ **

仲間の良さは、遊んだり、悩みを相談したり、問題解決ができること。でも、一緒にいて楽しいことが一番です。部活、サークル、学部、どこでもかまいません。ぜひ、すばらしい仲間を見つけて一緒に何かに集中し、その活動の中からいろいろなことを学んで成長してください。

学友会とは...

学生が充実した学生生活を送れるよう、課外活動を中心として様々な面において支援を試みている。学長を会長として教員・職員の方々を含め、全学生が会員となることを前提としている。言わば、生徒会のようなもの。文化系・運動系あわせて73にも及ぶクラブが所属しており、各クラブからの代表者一人により学友会総会を構成し、その中から選出された役員によって学友会の運営が行われている。

黎明祭(れいめいさい)とは...

毎年6月に行われる春の祭典。大学開学を記念して、学友会独自の新入生歓迎の意味も含まれている。実行委員は、学友会の中から選出されたスタッフ。平成14年度は10名。スタッフをしてみたいという方を募集しています。

連絡先：090-5432-6778